

「顎顔面痛患者における初診時の心理テストデータの後ろ向き調査」へのご協力をお願い

平成23年1月1日～平成25年12月31日までに口腔周囲の痛みを訴えられて岡山大学病院 歯科麻酔科を受診された患者さまへ

研究機関 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

責任研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科麻酔・特別支援歯学分野 教授 宮脇 卓也

研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科麻酔・特別支援歯学分野 大学院生 兒玉 茉莉

岡山大学病院 歯科麻酔科 講師 樋口 仁

岡山大学病院 歯科麻酔科 准教授 前田 茂

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・特別支援歯学分野 助教 友安 弓子

岡山大学病院 歯科麻酔科 医員 丸濱 美菜子

岡山大学病院 歯科麻酔科 医員 平野 彩加

岡山大学病院 歯科麻酔科 医員 川瀬 明子

この度、岡山大学病院 歯科麻酔科を受診された患者さまを対象とし、以下の調査を行いますので、該当患者さまのご協力をお願い申し上げます。

1. 研究の意義と目的等

1) 研究の意義と目的

ペインクリニック(歯科麻酔科)では、地域医療機関および院内から紹介された顎顔面痛を有する患者さまに専門的な治療を行っています。当科を受診される患者さまは、通常の歯科的処置では対応できない、難治性の慢性疼痛を有している場合がほとんどです。慢性疼痛患者さまの多くに、心因的要因が痛みの症状に関与していることが知られていることから、心因的要因を客観的に評価する必要があります。そこで、当科においては初診時に心理テストとして、コーネル・メディカル・インデックス (CMI 健康調査表) を患者さまに記入して頂き、治療方針の参考にしています。

しかしこの心理テストが顎顔面痛患者さまでどれほど有用であるかを検証した報告は見受けられません。そこで本研究では、当科を受診した患者さまの初診時のCMI健康調査表による分析結果と、患者さまの背景、臨床診断、および予後などとの関連性または傾向を評価することを目的に行われます。これにより、顎顔面痛と心因的要因との関連について何らかの知見を得ることができ、顎顔面痛の診断、治療方針の発展に寄与することが期待できます。

2) 被験者は被る利益・不利益等

本研究は、治療のために患者さまより聴取し診療録に記録をしている情報を用い、新たな患者情報の聴取等はいりません。また患者さまがこの研究に参加することにより被る利益および不利益はありません。

2. 研究の内容、方法

1) 研究対象

平成23年1月1日～平成25年12月31日までに、歯科麻酔科外来において顎顔面痛を主訴に来院した患者さまの中で、初診時にCMI健康調査表による心理テストを行った患者さまを対象とします。

2) 研究期間

平成26年5月倫理委員会承認後から平成28年3月31日の期間で行われます。

3) 研究方法および調査票等

研究資料としてカルテから患者さまの性別、年齢、罹患期間、病名、治療内容、予後およびCMI健康調査表の分析結果を使用します。性別、年齢、罹患期間、病名、治療内容、予後とCMI健康調査表の分析結果との間に関連および傾向があるかどうかを、コンピューターを用いて分析し、顎顔面痛と心理テストの関係を調べます。

4) 情報の保護

研究資料は患者さまの氏名・カルテ番号等、個人が特定される可能性のある情報は削除し、匿名化を行います。使用情報は岡山大学病院内で厳重に取り扱い、電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存する等、個人情報漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究資料は今後新たな医学研究に活用出来る可能性があるため、研究終了後5年間、資料を保存させていただきます。また保存した資料を別の目的に使用する際は、岡山大学病院倫理委員会にて厳正な審査を受け承認を得たうえでを行います。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 歯科麻酔科 氏名：樋口 仁 電話：086-235-6813